

授業科目 精神保健看護学概論

【担当教員名】 金谷 光子、西川 薫		対象学年	2	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	○	
【概要・一般目標：G10】 本教科は、人々の精神の健康の保持増進、疾病の予防および精神の病を持つ人に対する理解を深め、専門家として適切な援助の在りを学ぶことを目的とする。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神の健康を維持増進および予防する必要性について説明できる。 2. 精神の病を持つ人を取り巻く諸問題について列挙できる。 3. 精神の病を持つ人のそれぞれの病期（急性期・回復期・慢性期）の特性について説明できる。 4. 精神の病が日常生活に及ぼす影響について説明できる。 5. こころの病とセルフケアの関係について述べる事が出来る。 6. こころの病を持つ人の社会復帰に対する社会資源を列挙し、その是非について意見が述べられる。 7. こころの病と家族のあり方について、家族病理・家族教育・家族支援の視点から説明できる。 8. 他職種との連携およびリエゾン看護について説明が出来る。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1・2 2 3・4 5 5・6 6・7 8 8	精神医療の歴史および精神障害者をとりまく諸問題 心の病と看護 こころの病と日常生活：オレム・アンダーウッド理論 こころの病と病期（「急性期」の特性と看護のあり方 こころの病と病期（慢性期・リハビリテーション期）の特性と看護のあり方：（社会的資源の活用） こころの病と家族支援 リエゾン・コンサルテーション（事例を通して、ターミナル期にある患者他） まとめ				講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 テスト
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)	精神看護学演習と同じ教科書を使用予定				
参考書	こころを癒す リエゾン精神看護	南裕子編 野末聖香編	講談社 医歯薬出版株式会社	1996・2,800円＋税 2006・4,800円＋税	
その他の資料					
【評価方法】 出席 20% テスト 80%		【履修上の留意点】			